

みずほCustomer Desk Report 2019/06/06 号(As of 2019/06/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.13
TKY 9:00AM	108.26	1.1254	121.82	GBP/USD	1.2701
SYD-NY High	108.48	1.1307	122.26	AUD/USD	0.6991
SYD-NY Low	107.81	1.1220	121.56		0.7007
NY 5:00 PM	108.46	1.1220	121.70		1.2681
					0.6969
NY DOW	25,539.57	207.39	日本2年債	-0.2200	▲3.00bp
NASDAQ	7,575.48	48.36	日本10年債	-0.1300	▲2.00bp
S&P	2,826.15	22.88	米国2年債	1.8519	▲2.65bp
日経平均	20,776.10	367.56	米国5年債	1.8705	▲1.49bp
TOPIX	1,530.08	30.99	米国10年債	2.1305	1.03bp
シカゴ日経先物	20,790	65	独10年債	-0.2275	▲1.90bp
ロンドンFT	7,220.22	5.93	英10年債	0.8630	▲3.85bp
DAX	11,980.81	9.64	豪10年債	1.4915	▲0.90bp
ハンセン指数	26,895.44	133.92	USDJPY 1M Vol	7.08	▲0.17%
上海総合	2,861.42	▲0.86	USDJPY 3M Vol	6.97	▲0.12%
NY金	1,333.60	4.90	USDJPY 6M Vol	7.18	▲0.08%
WTI	51.68	▲1.80	USDJPY 1M 25RR	-1.63	Yen Call Over
CRB指数	172.34	▲3.15	EURJPY 3M Vol	7.28	▲0.04%
ドルインデックス	97.32	0.25	EURJPY 6M Vol	7.60	▲0.03%

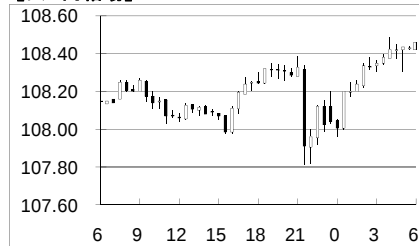
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月5日	16:55	独 マークイット(サービス業/コンボジット)PMI	5月 55.4/52.6	55/52.4
	17:30	英 マークイット(サービス業/コンボジット)PMI	5月 51.0/50.9	50.5/51
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	4月 -0.3%/2.6%	0.2%/3.1%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	4月 -0.4%	-0.5%
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 27k	185k
	22:45	米 マークイット(サービス業/コンボジット)PMI	5月 50.9/50.9	50.9/-
	23:00	米 ISM非製造業指数	5月 56.9	55.4
6月6日	03:00	米 ページブック「米経済活動、緩やかに拡大」		

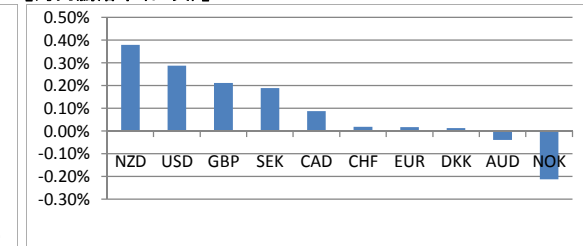
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	4月 0.0%	0.6%
	16:30	独 マークイット建設業PMI	5月 -	53.0
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q 0.4%/1.2%	0.4%/1.2%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	- 0.000%/0.250%/-0.400%	0.000%/0.250%/-0.400%
	21:30	欧 ドラギ ECB総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.90-108.90	1.1150-1.1300	121.00-122.30

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米5月ADP雇用統計が予想対比大幅に悪化したことから107.81円まで下落する場面も見られたが、その後の米5月ISM非製造業指数が良好な結果となったことや米国とメキシコ間の貿易問題に対して楽観的な見方からドル円は108.48円まで上昇した。本日のドル円は上昇する展開を予想する。週初、FRBによる利下げ期待からドル円は下落したものの、その後のFOMC高官による発言は同発言による市場への影響を落ち着かせたように見受けられる。また、米国とメキシコ間の貿易問題に関しても米政府高官から関税回避に向けた発言が出ている中、リスクオフの巻き戻しにより、ドル円は底堅い展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は108.26レベルで取引開始。前日のパウエルFRB議長の「成長を持続するために適切に行動する」との発言を受けて日米株が上昇したものの、米国による対メキシコ関税発動リスクや根強い米金利低下期待から、ドル円は上値の重い推移となり、107.98円まで下落。その後は108.00円付近での小動きとなり、107.99レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は107.99レベルでオープン、株が続伸、強含む中、買いが優勢、カプラン・ダラス連銀総裁の「利下げの判断は時期尚早」とのヘッドラインにややドル買いで反応し、108.38円まで上昇するも、米5月ADP雇用統計を控えて値幅は限定的。108.32レベルでNYに渡った。ボトドルは1.2719レベルでオープン、目新しい材料に乏しく、方向感のない展開。1.2693から1.2724の狭いレンジで推移し、1.2699レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は米長期金利の低下を横目に一時107.98円まで低下。しかし、107円台での買い意欲が見られたことや米長期金利が低下幅を縮めたことから108.38円まで買い戻され、108.32円までNYオープン。NY朝方は米5月ADP雇用統計が市場の事前予想を大きく下回ったことから、米金利の低下とともにドル売りが強まり、安値107.81円まで下落。しかし、平均が100ドル超の上昇でスタートしたことやNY10時発表の米5月ISM非製造業指数が予想を上回ったことから、ドルが買い戻され、108円台を回復。その後、ナットC委員長の「メキシコ当局はまだ関税を回避する時間がある」との発言やグラスリー米上院議員の「メキシコへの関税発動はないだろう」等の発言が伝わると、関税回避への期待が強まり、高値108.48円まで上昇する。NY終盤は108.40近辺で推移し、108.46レベルでクローズした。一方、海外時間のユーロドルは1.1280近辺で推移し、ドイツとユーロ圏の5月PMI(改定値)が速報値から上方修正されたことや米金利の低下を受けて1.1289まで上昇。しかしユーロ圏4月PPIが予想を下回ったことや「財政規則違反のためEUがイタリアへ懲戒手続きを開始」とのヘッドラインが伝わると、1.1253まで反落し、1.1256レベルでオープン。NY朝方は米5月ADP雇用統計の結果にドル売りが強まり、4月17日以来の高値1.1307を付ける。その後、米国の対メキシコ関税を取り下げる見方が強まり、ドル買いが進み1.1220まで反落。6日のECB理事会を控えて、積極的なユーロの買い戻しが手控えられる中、NY終盤は安値圏で推移し、そのまま1.1220でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することをお断じます。なお、当行は本情報を無償で提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家